自治労福島県本部会津総支部機関紙　2023年2月21日発行　第391号

# あいづ

〔発　行〕自治労
福島県本部会津総支部
〔所在地〕会津若松市西栄町
7-9　会津労働福祉会館2階
〔連絡先〕
jitirou.aizu@gmail.com
（携帯）090-3361-8400

## 春　闘

# 討論集会アンケート特集号

**①「政治活動」と「選挙運動」の違いをしっかりと学習し、来るべき統一地方選に勝利しよう！　②組合員の可処分所得の最大化のため「共済推進」に執行部全体で取り組もう！**

▼本機関紙の前号で、三年ぶりに開催された総支部春闘討論集会について掲載しました。今回は、この討論集会で回収した参加者アンケートの集約結果から、主なものを掲載し、皆さんと情報共有したいと思います。

▼なお、アンケートの内容は、①政治学習会に関して、②共済推進の学習会に関して、③討論集会全体について、となっていました。当日の講師を除く参加者は69名で、回収数61、回収率88・4％でした。

2月4日（土）に開催された討論集会の状況
（髙橋総支部長による団結ガンバロウ！）

### ①政治学習会に関して

▼まず「Q1」、投票先を決める際には約67％の人が「組合の推薦状況」を一番参考にすると回答しています。今回の集会参加者は、組合執行部の方が多かったので、高率となったのではないかと思います。一般組合員の皆さんも同様に、「組合の推薦状況」を一番に参考とするのであれば、組織内候補（特に国政）は、圧勝しているはずです。

▼次に「Q2」、Q1で「組合の推薦状況」以外で回答した方に、その理由を求めたものです。総じて、自分の考えを尊重して投票しているということのようです。

▼次に「Q3」、組合の推薦状況の把握方法ですが、「単組の機関紙・チラシ」が一番多い結果とな

【Q1】：投票先を決める際、一番参考とするものは？

| 区　分 | 回答数 | 回答率 |
|---|---|---|
| 組合の推薦状況 | 41 | 67.2% |
| 個人の考え | 18 | 29.5% |
| 家族の考え | 0 | - |
| 候補者・政党の公約 | 2 | 3.3% |
| 特にない | 0 | - |

【Q2】：「組合の推薦状況」を参考としない主な理由は？

○自分の考えに沿った政党、候補者に投票していきたいから
○与野党に期待していないので、自分がタイプの人に投票する
○地域のためになりそうな候補者に投票したい
○組合推薦候補者の何が良いのかわからない
○個人の信念に基づき投票するため
○安定的に国家の運営ができるように
○ケースバイケースで判断
○強制するものではないと思う
○情報はどこからでも入ってくるので、総合的に判断する

【Q3】：組合の推薦状況は何で把握？（複数回答可）

| 区　分 | 回答数 | 回答率 |
|---|---|---|
| 県本部・総支部の機関紙 | 34 | 55.7% |
| （同上）ホームページ | 2 | 3.3% |
| 単組の機関紙・チラシ | 36 | 59.0% |
| 組合役員から聞く | 10 | 16.4% |
| 推薦状況は把握していない | 0 | - |

## 当面の日程

■2月21日（火）・22日（水）春闘第１次オルグ（単組巡回）
■3月11日（土）
会津総支部第60回定期大会（会津若松市ホテルニューパレス）
■3月18日（土）
県本部自治研・専門部会中間報告会（県青少年会館）

**賃金の運用改善へ向け「1単組・1要求」を実現しよう！**

りました。やはり、組合員への情報伝達方法として、単組における機関紙発行が重要であるということが言えます。

▼最後に「Ｑ４」、全体の約29％の方が、単組で「政治活動を行っていない」と回答しており、その理由を回答いただいたものです。前号機関紙にも書きましたが、①特定の選挙で、②特定の候補者のために、③有権者に働きかける行為が「選挙運動」であり、これ以外が「政治活動」です。具体的には、①後援会加入活動、②組合の推薦決定と組合員への周知、③立候補予定者を呼んでの集会等です。これらの「選挙運動類似行為」は、誰でも、いつでもできることになっています。

【Q4】：単組で「政治活動」を行わない理由は？
（全体の29.3％の方が「政治活動は行っていない」と回答）

〇あいまいな点が多く、失職につながりかねない
〇行う理由、きっかけがないため
〇理由は分からない。行っているかもしれないが認識していない
〇政治活動に抵抗があるため
〇職場の改善要求のみで、政治活動まではできていない
〇選挙運動と政治活動の判断が難しいため。線引きが、きちんと正確にできない
〇情報、資材、推薦要請が直前だったりする

【Q5】：単組における「共済推進」の現状は？

| 区　分 | 回答数 | 回答率 |
|---|---|---|
| 執行部全体で推進 | 24 | 39.3% |
| 担当者・書記だけで推進 | 28 | 45.9% |
| 継続募集でパンフ等渡すだけ | 9 | 14.8% |
| 何もしていない | 0 | - |

## ② 共済推進の学習会に関して

▼まず「Ｑ５」、「執行部全体で推進している」以外の回答が全体の約60％でした。組合員の身分を守るため、可処分所得の最大化のために執行部全体で取り組みを行うことが求められています。

▼次に「Ｑ６」、「80％に達していない単組が危機感を抱いていないなら、周りが気をもんでも意味がない」という意見がありました。まさにその通りです。組織加入県から外れると80％に達していない単組において、健康告知区分が「非通常就業者」となる方が新規加入できなくなってしまいます。このことを再認識し全単組における取り組み強化が必要です。

【Q6】：「組織加入県復活」のための単組の取り組みは？（主な意見のみ記載。〇⇒前向き意見、●⇒後ろ向き）

〇執行部全体で理解度を高めるため、近日中に勉強会を実施予定
〇「マイカー共済」の見積書作成をすすめる
〇女性組合員の加入率が圧倒的に低いため、個別に対応
〇加入者の話を基に推進することが必要。私もマイカー共済に変更してから大分経費が浮いた
●窓口機能の強化（単組担当では荷が重い）
●組合員にメリットがあり、担当者の負担が少ないのであれば取り組む。県（全体）のために負担が増えるようなことは行わない。未達の単組が必要性を感じていないなら、他が気をもんでも意味がない
【その他】
□重点単組への金銭的なインセンティブの交付金
□組合員へのアピールのために80％加入を達成した際には表彰などあるとありがたい
□女性組合員の言い分としては、「女性の病気に対する保障が弱い」とのこと。保障の見直しを

## ③ 討論集会全体について

▼「勉強になった。また参加したい」等の意見があった反面、「（執行部ではないので）分からない内容があった。対象を明示し募集すべき」等の意見もありました。今後に活かしていきます。

≪自治労共済 掛金試算QRコード≫

じちろうマイカー共済

アクセスコード「 jichiro 」
①車検証、②現在ご加入の保険証書をお手元にご準備ください。

マイカー試算

団体生命共済（新制度）

掛金試算

## 編集後記

▼暖かくなったり、真冬並みに寒くなったり、目まぐるしく天気が変わる「春」。しっかりと体調管理をしたいものです。

▼さて、私の担当業務の一つである「県本部自治研」のＰＲを少々。自治研は地方自治研究の略で、現在第19年次自治研として、３つの専門部会による調査研究が進められています。①地域創生、②コロナ禍における対応、③震災・原発事故、がそれぞれの大テーマとなっています。この専門部会の中間報告会が、３月18日（土）に福島県青少年会館において開催されます。各単組へは発文済ですので、興味のある方はぜひご参加ください。（坂内）